

貧酸素水塊速報 (2023年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 神奈川県水産技術センター ○ 内湾底びき網研究会連合会
 【協力】 千葉県環境研究センター 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 (国) 国立環境研究所
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

令和5年8月8日観測結果

内湾底びき網研究会連合会による調査結果です。調査に参加された方はお疲れ様でした。貧酸素水塊は内湾の広い範囲に分布し、DO0.5 ml/L以下の無酸素に近い海域も広がっていました(図1)。

縦断ラインでの規模は、12%に減少し、例年を下回っています(図2,3)。

11日から北寄りの風が続く予報なので、青潮に注意して下さい。ただし、平場は無酸素化していないと考えられるため、広域に発生する可能性は低いです。

表層水温27~30℃、底層水温18℃~29℃でした。

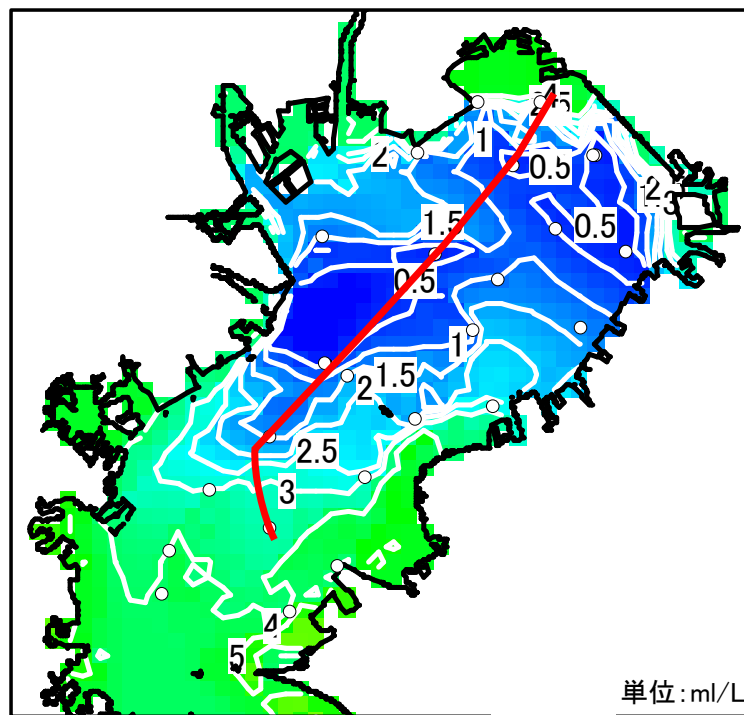


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

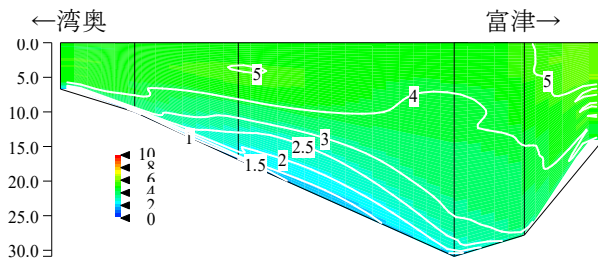


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

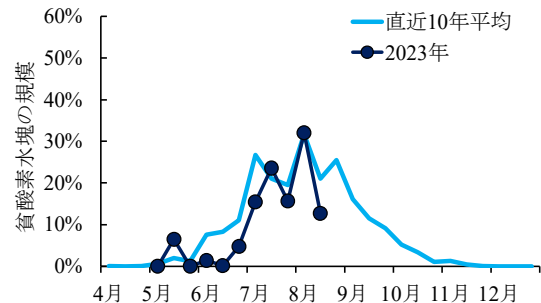


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)

酸素飽和度と溶存酸素量(DO)の目安

| 酸素飽和度 | 溶存酸素量 | 備考 |
|--------|---------|-------|
| 50% | 2.5mL/L | 貧酸素水塊 |
| 30~40% | 2.0mL/L | 魚類に影響 |
| | 1.5mL/L | 貝類危険 |
| | 1.0mL/L | |